

1 文化財調査の概要

(1) 既存の文化財の調査

先述のとおりこれまでの文化財の調査は、文化庁、富山県及び高岡市のほか、民間機関・研究会、郷土史家などの個人によって実施されている（詳細は資料編「文化財に関する既往の把握調査一覧」参照）。

調査内容を文化財の類型からみると、継続的に調査が行われた美術工芸品（古文書）、埋蔵文化財、伝統的建造物群の数が多。

建造物は、瑞龍寺や勝興寺など修理工事に伴う詳細な報告書や文化庁の補助を受けて県が実施した調査に加え、歴史文化基本構想策定時に総合的な把握調査を行っている。

美術工芸品は、高岡市立中央図書館が所蔵する「高岡史料」の編纂のために集められた資料を翻刻して年に1ないし2集を発行している「高岡市史料集」が半分を占める。古文書以外では昭和の終わりから平成の初めにかけて行われた石仏調査が多く、絵画や工芸品の調査は少ない。美術工芸品については、文化財指定時に個別に調査を行い、総合的な把握調査は行われなかったためと考えられる。

民俗文化財は、高岡御車山に関するものが半数を占めている。記念物は、指定文化財をはじめとする遺跡の調査が多い。また、二上山を中心に昆虫や植物の調査がなされている。

伝統的建造物群は、山町筋・金屋町・吉久の調査報告のほか毎年実施している修理・修景事業の報告を行っている。また、歴史文化基本構想策定時に伝統的建造物が集中する町並みの調査を行っている。

市内文化財の把握調査の状況

類型		地区																									
		中心部	下関	博労	横田	西条	成美	二上	守山	能町	野村	二塚	佐野	木津	福田	小勢	立野	東五位	石堤	国吉	牧野	伏木	太田	戸出	中田	福岡	
有形文化財	建造物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	美術工芸品	絵画	○	○	○	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	△	-	△
		彫刻	○	○	△	△	△	-	△	-	△	△	△	△	-	△	△	△	△	△	-	-	△	△	△	-	△
		工芸品	○	△	-	△	-	-	△	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	△	△	-	△
		書跡・典籍	△	△	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-
		古文書	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		考古資料	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歴史資料	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	-	△	
無形文化財		△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	
民俗文化財	有形の民俗文化財	○	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	-	△	
	無形の民俗文化財	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	○	
記念物	遺跡	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	名勝地	△	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	○	-	-	△	
	動物・植物・地質鉱物	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	△	○	△	
文化的景観		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	○	
伝統的建造物群		○	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	-	-	△	-	△	-	-	-	-	○	△	○	○	○	

○：調査が進んでいる分野    -：未調査    △：調査が不十分な分野

※中心部は平米・定塚・川原。伏木、戸出、中田、福岡は旧町の範囲

## 2 指定等文化財の概要

### (1) 指定等文化財の件数

高岡市の指定等文化財は、令和6年3月現在、国指定21件（うち国宝2件）、県指定23件、市指定91件、国選定3件、国登録40件の合計179件となっている。未指定文化財は、1,802件を把握している。

#### 高岡市内の指定等文化財の状況（令和6年3月現在）

文化財の種類		国				県		市	総計	
		指定	選定	選択	登録	指定	登録	指定		
有形文化財	建造物	8	-	-	39	1	-	5	53	
	美術工芸品	絵画	2	-	-	0	1	-	4	7
		彫刻	2	-	-	0	5	-	12	19
		工芸品	2	-	-	0	4	-	19	25
		書跡・典籍	1	-	-	0	1	-	3	5
		古文書	0	-	-	0	1	-	14	15
		考古資料	0	-	-	0	0	-	4	4
		歴史資料	0	-	-	0	3	-	0	3
無形文化財	0	-	0	0	0	0	1	1		
民俗文化財	有形の民俗文化財	1	-	-	1	0	-	2	4	
	無形の民俗文化財	2	-	0	0	1	0	2	5	
記念物	遺跡	3	-	-	0	4	-	14	21	
	名勝地	1	-	-	0	0	-	1	2	
	動物・植物・地質鉱物	0	-	-	0	2	-	10	12	
文化的景観		-	0	-	-	-	-	-	0	
伝統的建造物群		-	3	-	-	-	-	-	3	
総計		22	3	0	40	23	0	91	179	

※制度がないものは“-”と表記し、制度はあるが該当がないものは“0”としている。

#### 高岡市内の未指定文化財の状況（令和6年3月現在）

文化財の種類		合計	
有形文化財	建造物	1,108	
	美術工芸品	絵画	6
		彫刻	16
		工芸品	16
		書跡・典籍	8
		古文書	13
		考古資料	1
		歴史資料	10
無形文化財	4		
民俗文化財	有形の民俗文化財	7	
	無形の民俗文化財	237	
記念物	遺跡	13	
	名勝地	5	
	動物・植物・地質鉱物	3	
文化的景観		2	
伝統的建造物群		9	
合計		1,458	
埋蔵文化財		341	
その他		3	
総合計		1,802	

## (2) ユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」

「山・鉦・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う「山・鉦・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事である。平成28年（2016）に「高岡御車山祭の御車山行事」（昭和54年2月3日 重要無形民俗文化財指定）を含む全国の国指定重要無形民俗文化財の「山・鉦・屋台行事」33件が登録された。高岡御車山祭の御車山行事は、ユネスコの政府間委員会の決議文の中で、市や、地域の他の場所出身の老若男女が組織の責任や行事の運営を分担し、地域文化の多様性を示す山・鉦・屋台の設計、製作をはじめ、行事で演奏される囃子や行事全体の調整など、すべての段階が共有されている例として挙げられている。

## (3) 日本遺産

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、歴史的経緯や、地域の風土に根差した世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財を文化財群としてパッケージ化して総合的に活用する取り組みを支援している。

本市においては、「地域型」（単一の市町村内でストーリーが完結）と「シリアル型」（複数の市町村にまたがってストーリーが展開）でそれぞれ認定を受けている。

### ア 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人・技・心（地域型）

#### ●ストーリーの概要

高岡は商工業で発展し、町民によって文化が興り受け継がれてきた都市である。高岡城が廃城となり、繁栄が危ぶまれたところで加賀藩は商工本位の町への転換政策を実施し、浮足立つ町民に活を入れた。鋳物や漆工などの独自生産力を高める一方、穀倉地帯を控え、米などの物資を運ぶ良港を持ち、米や綿、肥料などの取引拠点として高岡は「加賀藩の台所」と呼ばれる程の隆盛を極める。

町民は、固有の祭礼やものづくりなど、町民自身が担う文化を形成した。純然たる町民の町として発展し続け、現在でも町割り、街道筋、町並み、生業や伝統行事などに、高岡町民の歩みが色濃く残されている。

#### ●構成文化財

番号	類型	名称	指定等
1	建造物	瑞龍寺	国指定
2	遺跡	前田利長墓所	国指定
3	建造物	五福町神明社本殿	市指定
4	建造物	大手町神明社拝殿	市指定
5	遺跡	高岡城跡	国指定
6	古文書	前田利長公親書	市指定
7	有形の民俗文化財	高岡御車山	国指定
8	無形の民俗文化財	高岡御車山祭の御車山行事	国指定
9	無形の民俗文化財	与四兵衛顕彰碑（弥真進大人命旧跡）	未指定
10	古文書	明和八年製高岡町図	市指定
11	伝的建造物群	山町筋伝統的建造物群保存地区	国選定
12	建造物	菅野家住宅	国指定
13	建造物	筏井家住宅	県指定
14	建造物	土蔵造りのまち資料館（旧室崎家住宅）	市指定
15	伝統的建造物群	金屋町伝統的建造物群保存地区	国選定
16	古文書	仁安の御諭旨	市指定
17	古文書	前田利長書状	市指定
18	建造物	有磯正八幡宮（本殿、釣殿、拝殿及び幣殿）	国登録
19	工芸品	銅造阿弥陀如来坐像	市指定
20	有形の民俗文化財	高岡鋳物の製作用具及び製品	国登録

番号	類 型	名 称	指定等
21	無形の民俗文化財	御印祭	未指定
22	建造物	旧南部鑄造所キュボラ及び煙突	国登録
23	有形の民俗文化財	梵鐘龍頭木型	市指定
24	建造物	戸出御旅屋の門	市指定
25	建造物	勝興寺	国指定
26	遺跡	伏木港（伏木浦）	未指定
27	建造物	伏木北前船資料館（旧秋元家住宅）	市指定
28	建造物	棚田家住宅	国登録
29	建造物	能松家住宅	国登録
30	建造物	有藤家住宅	国登録
31	建造物	高岡市商工会議所伏木支所	国登録
32	建造物	伏木気象資料館（旧伏木測候所庁舎・測風塔）	国登録
33	建造物	丸谷家住宅	国登録
34	建造物	佐野家住宅	国登録
35	建造物	清都酒造場	国登録
36	無形の民俗文化財	越中福岡の菅笠製作技術	国指定
37	伝統的建造物群	菅笠問屋の町並み	未指定
38	伝統的建造物群	吉久伝統的建造物群保存地区	国選定

## ●所在自治体

富山県高岡市

## イ 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～（シリアル型）

### ●ストーリーの概要

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っている。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。

### ●高岡市の構成文化財

番号	類 型	名 称	指定等
1	建造物	秋元家住宅（高岡市伏木北前船資料館）	市指定
2	建造物	旧伏木測候所庁舎・測風塔（高岡市伏木気象資料館）	国登録
3	建造物	伏木神社	未指定
4	無形の民俗文化財	伏木神社春季例大祭の祭礼行事	市指定
5	無形の民俗文化財	伏木帆柱起し祝唄	未指定
6	建造物	勝興寺唐門	国指定
7	伝統的建造物群	吉久伝統的建造物群保存地区	国選定
8	建造物	菅野家住宅	国指定
9	有形の民俗文化財	高岡鑄物の製作用具及び製品	国登録

### ●所在自治体

北海道（小樽市・石狩市・函館市・松前町）、青森県（野辺地町・鱒ヶ沢町・深浦町）、秋田県（能代市・男鹿市・秋田市・由利本荘市・にかほ市）、山形県（酒田市・鶴岡市）、新潟県（村上市・新潟市・佐渡市・長岡市・出雲崎町・上越市）、富山県（富山市・高岡市）、石川県（輪島市・志賀町・金沢市・白山市・小松市・加賀市）、福井県（坂井市・南越前町・敦賀市・美浜町・小浜市）、京都府（宮津市）、大阪府（大阪市・泉佐野市）、兵庫県（神戸市・高砂市・姫路市・たつの市・新温泉町・赤穂市・洲本市）、鳥取県（鳥取市）、島根県（浜田市）、岡山県（倉敷市・岡山市・備前市）、香川県（多度津町）、広島県（尾道市・竹原市・呉市）

### 3 文化財の類型ごとの概要

#### (1) 有形文化財

##### ア 建造物

指定文化財は14件、登録有形文化財は39件ある。当市の代表は寺院建築であり、瑞龍寺や勝興寺は伽藍の建築群のほとんどが国指定となっている。そして「瑞龍寺 仏殿、法堂、山門」、「勝興寺 本堂、大広間及び式台」の2件が国宝に指定されている。

また、近世豪農の民家である「武田家住宅」、「佐伯家住宅」（いずれも国指定）や近代高岡の商家の土蔵造り建造物である「菅野家住宅」（国指定）、「筏井家住宅」（県指定）、「旧室崎家住宅」（市指定）などがある。登録有形文化財には、町並みを構成する民家や社寺のほか、「旧伏木測候所」や「旧南部鑄造所キュボラ・煙突」など近代高岡の歴史を物語る建造物がある。

未指定文化財は、国泰寺などの寺院建築、町家なども含めて1,108件を把握している。



瑞龍寺(国宝・国指定)



勝興寺(国宝・国指定)



佐伯家住宅(国指定)



菅野家住宅(国指定)



旧伏木測候所(国登録)



旧南部鑄造所(国登録)

## イ 美術工芸品

### 絵画

指定文化財は7件ある。「紙本金地著色洛中洛外図六曲屏風」(国指定)、「紙本著色一塔両尊像、日蓮像、鬼子母神十羅刹女像、絹本著色三十番神像」(国指定)、初期洋画の「達磨図」(市指定)など主に寺院に伝来している。

未指定文化財は「高岡町奉行肖像」など6件を把握している。寺院に仏画などが存在していると想定される。



紙本金地著色洛中洛外図六曲屏風(国指定)



紙本著色一塔両尊像

日蓮像

鬼子母神十羅刹女像

絹本著色三十番神像

紙本著色一塔両尊像、日蓮像、鬼子母神十羅刹女像、絹本著色三十番神像(国指定)

## 彫刻

指定文化財は19件ある。「木造千手観音坐像」(国指定)、「木造男神坐像」(国指定)、「木造烏菟沙摩明王立像」(県指定)、「木造狛犬」(市指定)など多くが寺社に由来し、「銅造阿弥陀如来坐像」(市指定)や「青銅随神像」(市指定)など高岡鋳物と関係が深いものもある。

未指定文化財は伝越中国分寺木造天部像など16件を把握している。他にも木造・石造の仏像のほか、銅像の原型などが想定される。



木造男神坐像(国指定)



木造千手観音坐像(国指定)

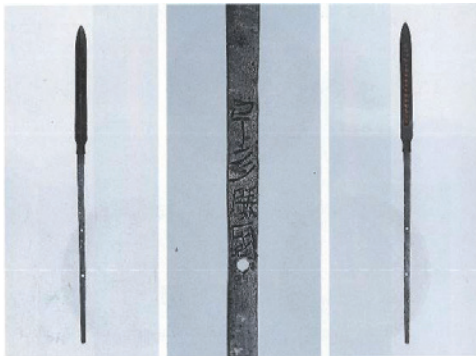


木造烏菟沙摩明王立像(県指定)

## 工芸品

指定文化財は25件ある。中世の名工越中宇多派の槍先である「槍 銘 宇多勝国」(市指定)や近世は高岡伝統工芸の集大成である「高岡御車山」(県指定)、高岡彫金の祖である安川乾清の代表作である「木蓮に小禽図飾金具」(ともに市指定)がある。近代では内国勸業博覧会やパリ万博に出品された「武人文大香炉」(市指定)、「福寿文勇助塗飾棚」(市指定)など高岡のものづくりに関するものが多い。

未指定文化財は、梵鐘や宇多派の刀剣など16件を把握している。他にも銅器や漆器など高岡のものづくりに関する工芸品が多く存在していると想定される。



槍 銘 宇多勝国(市指定)



木蓮に小禽図飾金具(市指定)



竹虎紋金銀象嵌鏝(市指定)



武人文大香炉(市指定)



福寿文勇助塗飾棚(市指定)

書跡・典籍

指定文化財は5件ある。書跡は「紙本墨書後陽成院宸翰御消息」(国指定)、「紙本墨書近衛信尋筆懷紙」(県指定)、高岡町奉行の書である「長屋八内書」、幕末天狗党の軍旗である「武田耕雲斎書」(ともに市指定)の4件、典籍は室町時代の注釈本の写本である「孟子抄」(市指定)がある。

未指定文化財は『萬葉集』断簡など8件を把握している。他にも寺院や古い商家などに存在することが想定される。



長屋八内書(市指定)

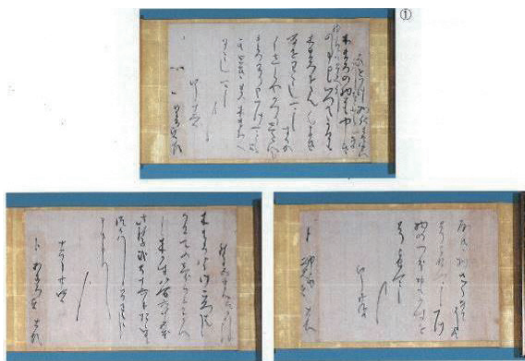


孟子抄(市指定)

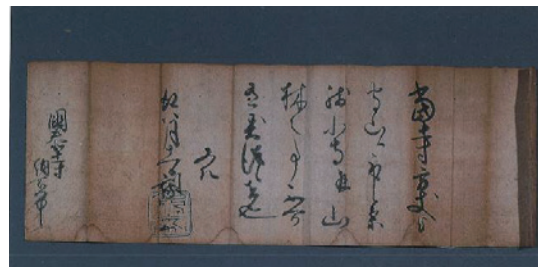
古文書

指定文化財は15件ある。前田利長が楽市楽座を認めた際の「木造篠川村市場制札」(県指定)のほか、「前田利長公御親書」、「前田利家安堵状」、「戸出野開御印状」、「明和8年製高岡町図」、「杉野家古文書」、「前田利長書状」、「高岡御車山文書」、「二上射水神社文書」(いずれも市指定)など近世の前田家の治世に由来するものが多い。

未指定文化財は、佐渡家文書など13件を把握している。まだ確認されていないものも多くあると想定される。



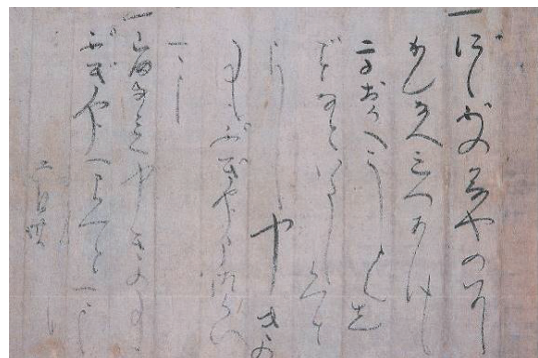
前田利長公御親書(市指定)



前田利家安堵状(市指定)



杉野家古文書(市指定)



前田利長書状(市指定)

## 考古資料

指定文化財は4件ある。奈良時代の作と推定される「瓦硯」、国史跡桜谷古墳周辺からの「桜谷古墳付近出土品」、上向田経塚から出土した「珠洲焼 刻銘経外容器（経筒）」、伏木古府で出土した「白山経塚出土品」（いずれも市指定）が存在する。

未指定文化財は瑞龍寺の鉛瓦1件を把握している。埋蔵文化財包蔵地からの多くの出土品があり、今後も発掘調査の実施に伴って増加が見込まれる。



桜谷古墳付近出土品(市指定)

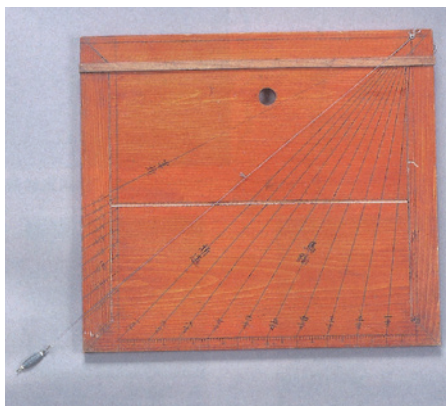


珠洲焼 刻銘経外容器(経筒)(市指定)

## 歴史資料

指定文化財は3件ある。「前田家寄進の宝物」、「勝興寺宝物」のほか、江戸時代の測量器具である「清都家測量器具等関係資料」（いずれも県指定）が存在する。

未指定文化財は、高峰讓吉の別荘である松楓殿関係資料など10件を把握している。そのほか、高峰讓吉のほか藤井能三や林忠正など高岡の歴史において重要な人物に関する遺品などが想定される。



清都家測量器具等関係資料(県指定)

## (2) 無形文化財

指定文化財は福岡地域に近世から続く雅楽1件がある。

未指定文化財は鋳物や漆工の工芸技術4件を把握している。



雅楽(市指定)

## (3) 民俗文化財

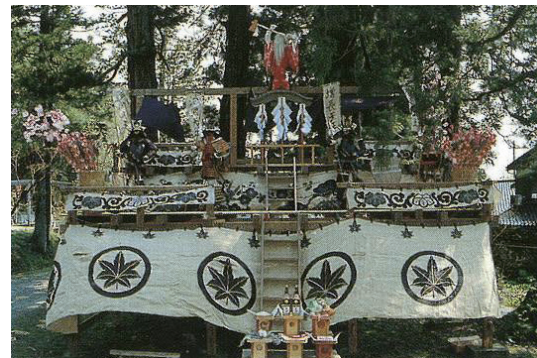
### ア 有形の民俗文化財

指定文化財が3件、登録文化財が1件ある。高岡の町民文化の結晶である「高岡御車山」(国指定)、その御車山が曳山に発展する前の形態と考えられる「越中総社射水神社築山」(市指定)のほか、戸出における鋳物業隆盛の証である「梵鐘龍頭木型」(市指定)がある。また、高岡鋳物の発展の過程で使用された「高岡鋳物の用具および製品」(国登録)がある。

未指定文化財は、漆器製作道具など7件を把握している。そのほか、獅子頭などの祭礼行事の用具や生活用品などが想定される。



高岡御車山(国指定)



越中総社射水神社築山(市指定)



梵鐘龍頭木型(市指定)



高岡鋳物の制作用具および製品(国登録)

## イ 無形の民俗文化財

指定文化財は5件ある。「高岡御車山祭の御車山行事」(国指定)、「二上射水神社の築山行事」(県指定)のほか、けんか山で知られる「伏木神社春季例大祭の祭礼行事」(市指定)や「氣多神社のにらみ獅子」(市指定)の祭礼行事がある。また、400年以上の年月を経て当初の生産・製作形態を保ちながら継承されている「越中福岡の菅笠製作技術」(国指定)がある。

未指定文化財は、獅子舞などの祭礼のほか左義長やつくりもんまつりに代表される地蔵祭など年中行事237件を把握している。祭礼や年中行事については、把握できていないものも多い。そのほかにも天神信仰や郷土食などが想定される。



高岡御車山祭の御車山行事(国指定)



二上射水神社の築山行事(県指定)



氣多神社のにらみ獅子(市指定)



越中福岡の菅笠製作技術(国指定)

## (4) 記念物

### ア 遺跡

指定文化財は21件ある。古代のものとして「桜谷古墳」(国指定)、「下向田古墳群」(市指定)などの古墳や「城が平横穴古墳」(県指定)、「江道横穴古墳群」(市指定)などの横穴墓群のほか伏木台地に「越中国分寺跡」(県指定)がある。中世は「木舟城跡」(県指定)、「守山城跡」(市指定)などの城郭や「弓の清水古戦場」(市指定)がある。近世は「高岡城跡」(国指定)、「加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)」(国指定)、「瑞龍寺境内地」(市指定)が高岡台地上にある。

未指定文化財は、街道や近代化遺産など13件を把握している。そのほか、二上山から西山丘陵沿いに分布する古墳群や越中国庁跡など越中国府に関連するものが想定される。



桜谷古墳(国指定)



下向田古墳群(市指定)



城が平横穴古墳(県指定)



江道横穴古墳群(市指定)



越中国分寺跡(県指定)



弓の清水古戦場(市指定)



木舟城跡(県指定)



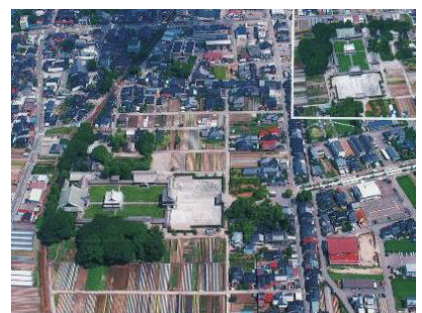
守山城跡(市指定)



高岡城跡(国指定)



加賀藩主前田家墓所  
(前田利長墓所)(国指定)



瑞龍寺境内地(市指定)

## イ 名勝地

指定文化財が2件ある。小矢部川支流の子撫川こなでがわにある溪谷美の「五位の滝ごいの沢たき」(市指定)と「おくのほそ道の風景地-有磯海-」(国指定)がある。松尾芭蕉が「わせの香かや分入右わけいは有磯海ありそみ」の句に詠んだ「有磯海」は、大伴家持の古歌に因む越中の代表的な歌枕である。指定範囲にある雨晴海岸は万葉集では「波しほ谿たに」と呼ばれ、小さな女岩めいわを前景として海越しに3,000m級の立山連峰を望むことができる景勝地である。

未指定文化財は、二上山や小矢部川(射水川)など5件を把握している。



おくのほそ道の風景地—有磯海—(国指定)

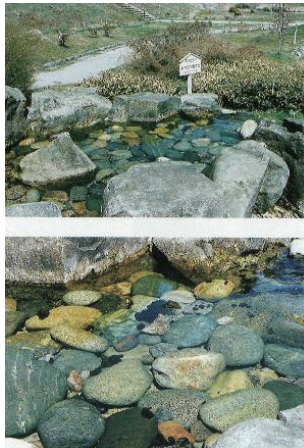


二上山

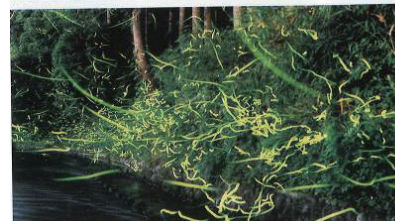
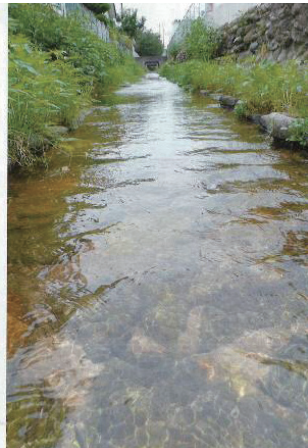
## ウ 動物・植物・地質鉱物

指定文化財が12件ある。「トミヨとゲンジボタル及びヘイケボタル生息地」(県指定)、<sup>かみあそ</sup>「上麻生のあしつきのり」(県指定)など水の豊かさを物語るもののほか、「<sup>あさいじんじや</sup>浅井神社の杉並木」(市指定)、「<sup>にしえびざかしんめいしゃ</sup>西海老坂神明社の<sup>おおすぎ</sup>大杉」(市指定)、「<sup>しんらん</sup>親鸞聖人が目を留めたといわれる「<sup>じょうえいじ</sup>浄永寺の大いちょう」(市指定)など寺社に伝わる樹木や「<sup>こしひ</sup>越の<sup>ひがんどくら</sup>彼岸桜」(市指定)、「<sup>といでおたや</sup>戸出御旅屋の<sup>こうやまき</sup>高野槇」(市指定)など前田家に由来する樹木がある。

未指定文化財は、低地型ブナ林など3件を把握している。



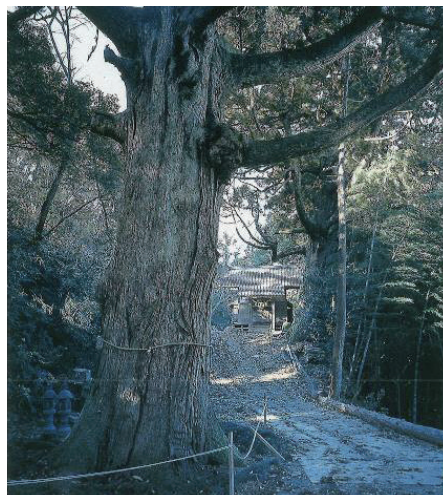
上麻生のあしつきのり(県指定)



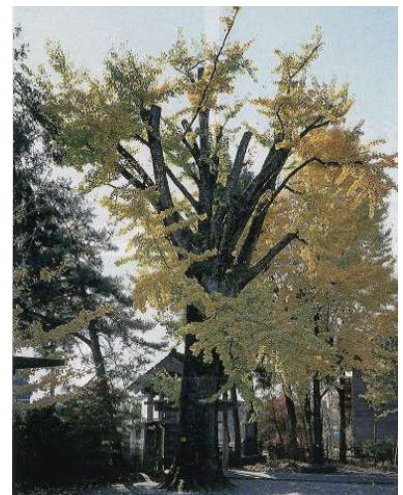
トミヨとゲンジボタル及びヘイケボタル生息地(県指定)



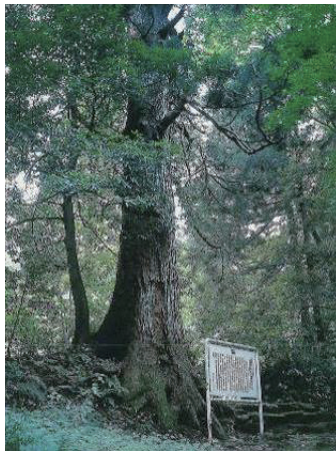
浅井神社の杉並木(市指定)



西海老坂神明社の大杉(市指定)



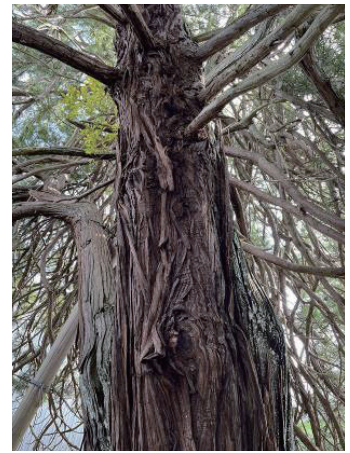
浄永寺の大いちょう(市指定)



沢川田畑家の大杉(市指定)



越の彼岸桜(市指定)



戸出御旅屋の高野槇(市指定)

### (5) 文化的景観

文化財選定地域はない。未指定文化財は農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究」(文化庁監修)において挙げられた「福岡町の菅田と菅干し」や「砺波平野の散村」など2件を把握している。



福岡町の菅田と菅干し



散村の風景

### (6) 伝統的建造物群

指定等文化財は山町筋、金屋町、吉久(いずれも国選定)の3件ある。未指定文化財は福岡、戸出、中田など近世の街道沿いの町並みや港町の伏木など9件を把握している。



高岡市山町筋伝統的建造物群保存地区



高岡市金屋町伝統的建造物群保存地区



高岡市吉久伝統的建造物群保存地区



福岡の町並み

## (7) 埋蔵文化財

市域では341の埋蔵文化財包蔵地が周知されている。越中国府があった伏木エリアは大部分を越中国府関連遺跡として埋蔵文化財包蔵地となっている。小矢部川左岸の二上山から西山丘陵沿いに古墳群や城跡が多く分布している。庄川と小矢部川に挟まれた地域では、石名田木舟遺跡、下老子笹川遺跡、石塚遺跡など庄川扇状地扇端部に多く分布し、扇中部に近い戸出地区は比較的少ない。庄川右岸では、庄川河口に近い牧野地区に多く分布している。

## (8) その他

### 歌碑・句碑・顕彰碑等

加賀前田家5代当主前田綱紀が射水郡の十村役に越中万葉の歌枕を調査させたこともあり、近世の後半には土地の有力者の間に万葉集の関心を芽生えさせた。市内には安政5年（1858）に肝煎の宗九郎が建てた歌碑があるほか、近代以降万葉故地であることを顕彰する歌碑が25基存在している。

元禄2年（1689）に万葉集など和歌に詠まれた歌枕を訪ねて東北から北陸地方を旅し、紀行文「おくのほそ道」を記した松尾芭蕉は、高岡で一泊している。やがて越中でも芭蕉の流れを組む俳諧が盛んになり、戸出出身の俳人尾崎康工などが有名である。市内には安政4年（1857）に建立されたものをはじめ、芭蕉を偲ぶ句碑が4基存在している。

また、市内には大伴家持や前田利長のほか、藤井能三や高峰讓吉など高岡に縁ある人の遺徳をしのぶ碑が残されている。

### 舞句（前句）

前句は俳諧の練習の前句付けから派生し、季題などの規則に拘束されことなく、日常的な言葉遣いで生活を575調の詩形で自由率直に表現した大衆文芸であり、明治に入って「舞句」と呼ばれるようになった。高岡を中心とする富山県西部で盛んで、福岡地域では現在も句会が行われている。